

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2013.2.25

No.2067

No.25



先々週の出席率 会員48名中40名

出席率 82.61%

先週のメークアップ 2/21 加茂RCへ 野島廣一郎君
2/23 会長エレクト研修セミナー(中条)へ
馬場信彦君 草野恒輔君 平松修之君



会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長

坂井 範夫

皆さん、こんにちは。

今年の雪は、多くはないのですが、降っては止み、降っては止みで晴れる日が少ないですね。ですが、街中では雪下ろしまではいかないので助かっております。しかし、例年よりも寒さが厳しいのではないのでしょうか。

そんな中 2月の建国記念日の3連休、昨日の2連休、皆さんはどう過ごされましたか。私は、一日は温泉で一泊、ゴルフで関東方面へも行ってきましたが、基本的にはあまり行く所もないので、女房の買物に付き合い新潟や市内のスーパーまでもついて行き休日を過ごしました。何とも退屈な日々でした。

畑用の種、肥料も早々に仕入れ、春が来たらいつでも畑ができるように準備をして待っております。あと4日で3月、すぐそこまで春が来ているようで待ち遠しい気持ちでいっぱいです。

私の趣味はレベルとしては最低ですが、春蘭を育て、また魚は、フナ、タナゴ、メダカ、ドジョウ、シンケンなど日本固有で地元で取れる魚のみです。小鳥も少々飼っており、小動物のみです。動植物を育てて解るのは、決して可愛がり過ぎないことです。よく見ていて、欲しがっている時だけにエサや肥料を少なめに与えます。どうしても多めにあげるようになりますが、そうすると反対に元気が悪くなり、花も咲かなくなったりします。動植物も人間も同じようです。

畑は素人ですから種まきが早すぎたり、遅すぎたりして良く育たないことが多々あります。ただし、キュウリ、トマト、豆、ナス、カボチャ等はあまり上手下手に関係なく、そこそこ収穫が出来、スーパーで売っているような粒ぞろいとまではいきませんが、何よりも自分で作った野菜を食べるということは、充実感があり、とても美味しく感じられます。ただ、金銭的には買って食べた方がずっと安く上がりますが・・・、遊び代と思えば安いものと

四つのテスト

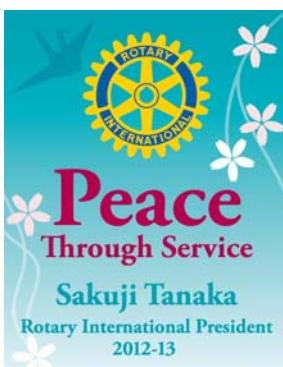
一言行はこれに照らしてから—

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 田中 作次 [埼玉、八潮]

第2560地区ガバナー 鈴木 重彦 [長岡]

第4分区ガバナー補佐 杉山 太三郎 [巻]

会長 坂井 範夫

幹事 丸山 征夫

S A A 永桶 俊一

事務局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL <http://www.sanjo-minami.jp>

思っております。

「遊び」と言えば、今朝の新聞に入ってきた広告の中 9 枚中 6 枚がパチンコ等のものでした。寒いので冬期間の遊び場となっているのでしょうか。考えさせられることではないでしょうか。

本日は、今年度入会いただいた池田会員の卓話です。ご期待申し上げます。よろしくお願いいたします。

幹事報告



丸山征夫 幹事

●鈴木ガバナー事務所より「3月ロータリーレート」のご案内

3月1日より 現行 1ドル=88円 ⇒ 92円

●新潟中央ロータリークラブより「創立20周年記念式典」のご案内

＜日時＞ 2013年4月6日(土) 11:00~14:30

＜会場＞ ANAクラウンプラザホテル

●長岡西ロータリークラブより「創立30周年祝賀会」のご案内

＜日時＞ 2013年4月7日(日) 14:30~17:20

＜会場＞ 長岡ベルナール

●旧新潟市内ロータリークラブ連合事務局より事務所移転のご案内

新住所 〒951-8062 新潟市中央区西堀前通 6-905 第二西堀ビル 5F

(TEL 025-222-5050 FAX 025-222-5051・・・変更なし)

●山崎ガバナーエレクト事務局より「2013-14年度地区協議会」のご案内

＜日時＞ 2013年4月13日(土) 9:30~18:30

＜会場＞ ロイヤル胎内パークホテル

＜出席義務者＞ 2013-14年度 地区役員、会長、幹事

社会奉仕、新世代奉仕、青少年交換、米山記念奨学、ロータリー財団 各委員長

3月12日開催「市内4RC合同例会」についてのご連絡

※ 18:00 開会 於：燕三条ワシントンホテル

各自、現地集合、現地解散となります。但し、帰路につきましては、三条市内中央（本寺小路）までのバスの用意がございます。

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 2月25日 27,000円
今年度累計 619,000円
+600パーツ～

坂井君 春はそこまで来ております。健康に気をつけてお過ごしください。
今日の卓話、池田さん、よろしくお願いいたします。

丸山(征)君 寒いです。夏の暑さと平均してもらおうと過ごし易いのですが…。反対に冬はもっと寒く夏はもっと暑くなる傾向？

池田君 卓話をさせていただきます。
今日は父の命日です。これも何かの縁かと思えます。

大溪君、坂本君、佐々木君、鈴木(園)君、坪井君、野崎君、星野君、

池田先生、卓話ご苦労さまです。
楽しみにしております。

野中君 寒い！！
池田先生、今日はよろしくお願いいたします。

安達君 都合で早退させていただきます。
池田先生、申し訳ありません。

永桶君 息子の大学受験も終わり、昨日アパートの仮予約をしてきました。とりあえず終わってホッとしました。

馬場(信)君 2/23(土)開催の「PETS」で地区委員長セミナーの講師を務めました。
準備で吉井会員、事務局さんご助力ありがとうございました。

荻澤君 本日の週報に会長挨拶と「あの日の一枚」に写真が掲載されました。
県央地場産業振興センターの大ホールのこけら落としに使用させて頂いたこと等など思い出し懐かしんでおります。

赤塚君、草野君、熊倉君、佐藤(嘉)君、滝口君、田中君、銅冶君、西巻君、馬場(一)君
BOXに協力いたします。

吉井君 例会場に入って、野中委員長と目が合った途端、BOXを頼まりました。
久しぶりのBOX担当となりました。
皆様のご協力に感謝いたします。

「『県央救命救急センター併設機関病院』について」

池 田 稔 会 員

連日の報道で話題になっている基幹病院についてお話しいたします。

4年も5年もかかって大きな大きな岩を止めていた小石を、ようやく取り除くことができました。大岩はゆっくりと動き始めました。蓄積されたエネルギーは巨大でもう止められません。しかしどこに落ち着くのかはわかりません。

1年前の平成24年2月15日に市町村長の参加する合同会議で下記のような合意事項が決められました。

●県は、「具体的な医療提供体制の方向性」に基づき、500床規模の病院の設備および既存病院の役割分担の再構築に向け、今後、具体的な調整を行う。

●具体的な調整に当たっては、平成20年9月5日発表の「三条市長等の中核病院設置要望に関する知事コメント」を尊重して対応する。

●経営主体等との再編に向けた調整役は県が行う。

●県は、複数の案を検討し、次回合同会議に報告する。

ここでいうコメントは「県として加茂病院の廃止や縮小は考えておりません。」という知事のものでした。

ここまで3年、10回の会議を費やしました。

今年の2月4日に救命救急センター及び併設病院等のあり方検討会議「第11回知事・市町村長・医療関係者等合同会議」が開かれました。

結論は皆様ご存知のとおりであります。

知事が腹をすえればすぐにも決まったことを、延々4年もかかったわけです。

燕労災病院・厚生連三条総合病院の統合再編案と公設民営が採択され、合同会議が今回で終了し、平成25年6月をめぐり、基本構想策定委員会が設立されることになりました。

会の終了後、田上町長から県立加茂病院は加茂、田上市民にとって大切な病院であり、基幹病院の方向性が決定されないために老朽化がひどく、なんとかしてほしいと話があり、県より早急に対処するとの意向がありました。

これからも基幹病院には多くの問題があります。

- ① 医師確保。
- ② 既存病院の機能分担。



平成25年2月23日発行

県央医療の充実に向けてのお知らせ

新潟県福祉保健部医療事業課・三条地域振興局健康福祉環境部

県央基幹病院整備に向けて病院再編案まとまる

～一日も早い救命救急センター設置に向けて～

平成25年2月4日(月)、新潟県は、燕三条地場産業振興センターにおいて、県央地域の5市町村長と医療関係者(県央4医師会長・7救急病院長)、新潟県による「救命救急センター及び併設病院等のあり方検討会議」第11回知事・市町村長・医療関係者等合同会議(以下「合同会議」という。)を開催しました。

この会議において、救命救急センターを併設した県央基幹病院の整備に向け、燕労災病院と厚生連三条総合病院を統合再編すること、そして県央基幹病院の整備・運営形態は「公設民営」とすることが合同会議の結論としてとりまとめられました。

今後は、病院の基本構想のとりまとめ、病院の再編に向けた経営主体との話し合いを進め、一日も早い救命救急センターの設置と県央基幹病院の整備に取り組んでいきます。

合同会議には、新潟県から三つの案を提案しました。

(A案)



燕労災病院、三条総合病院の経営主体も「病院再編(A案)に積極的に参画」

燕労災病院と厚生連三条総合病院の経営主体からも「地域医療の水準を向上させるため、積極的に病院再編に参画したい」との回答をいただいております。具体的な話し合いはこれからになりますが、実現性が高い案と考えられます。

(B案)



基幹病院は原則「紹介状がいる病院」

基幹病院は、重症の救急医療やがんなどの高度・専門的な医療を担うこととなりますので、基本的には他の病院や診療所から紹介された患者が入院する病院となります。

加茂病院が基幹病院になると、この地域に、慢性病の患者、回復途中の患者の入院を受け入れ、住民に身近な医療を提供する病院がなくなってしまう。

「早急に基幹病院の整備を進めるべき」との意見が大勢

救急など待たない課題を解決するため、早急に基幹病院の整備を進めるべきとの考えが大勢を占め、出席者のほとんどの賛同を得て、A案が合同会議の結論としてとりまとめられました。



加茂病院は加茂地域の医療を守る病院として早期改築

加茂病院は加茂地域の医療を守る病院として、引き続き地域に必要な医療を提供していく役割が求められています。

また、老朽化のため、早期改築が必要となっています。そのため、平成25年度予算案に改築を検討するための予算を計上しました。

合同会議で定まる泉田知事

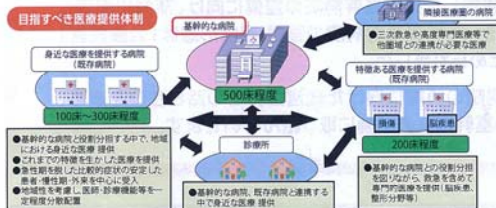
基幹病院整備は次の段階へ

—住民の皆さんにも積極的に情報を提供—

今回の合同会議では、加茂市小池市長が、「さらに時間をかけて検討すべき」として、結論のとりまとめに反対され、会議途中で退席されたことは、大変に残念なことでした。

基幹病院の整備を円滑に進めていくためには、地域の理解と協力が重要です。地元市町村長にも積極的に情報を提供していきましますので、今後ともご協力をお願いしたいと考えております。あわせて、地元の住民の皆さんにも様々な機会を活用し、情報を提供してまいります。

今回の合同会議で病院の再編についての結論がとりまとめられ、基幹病院の整備は次の段階に進むこととなります。県央全体の医療水準を高め、安全安心な医療の提供につながるものであり、地域住民の皆さんにも喜んでいただけるものと考えております。



基幹病院のイメージ
(鳥取県立病院実施設計から)

これまでの経過

「救命救急センターが必要」 「基幹病院は500床規模」で共通認識

— 11回の合同会議で議論を積み重ね —

県央には救命救急センターを併設した 基幹病院が不可欠

県央医療圏においては、救急患者の圏域外への搬送、がんや心疾患、小児医療の他圏域への依存、病院に勤務する医師の減少など、医療提供に関する多くの課題があります。

これらの課題を解決するためには、救命救急センターなどの機能をもち、高度・専門的な医療を提供する基幹病院を整備し、既存の病院との役割分担、連携体制を構築していくことが不可欠です。

「規模は500床程度」「基幹病院整備に 向け病院再編」で共通認識

県央基幹病院については、平成20年に検討を始めて以来、合同会議を11回にわたり開催するなど、約4年半をかけて議論を積み重ねてきました。

その中で、救命救急センターの運用、医師確保等の観点から、基幹病院は500床規模の病院とすると、基幹病院の整備のためには、病院の再編が必要であり、新潟県が病院を運営する経営主体と調整していくことなどが、合同会議での共通認識として合意されました。

Q&A

Q1 県立加茂病院及び県立古田病院はどうなるのでしょうか？
A1 2つの県立病院とも、地元が必要とする住民に身近な医療を提供している重要な役割であり、引き続きその役割を担っていく必要があると考えています。
また、県立加茂病院は老朽化が進んでおり、耐震性の問題もあることから、早期に改築を行う必要があります。そのため、平成25年度予算案に改築を検討するための予算を計上しました。

Q2 統合再編で、今までの場所と機能がなくなってしまうと、どうなるのでしょうか？

A2 統合再編により、基幹病院を中核とした圏域の病院、診療所の役割分担と連携が大きく進むことになります。このことから、圏域内で一定規模の医療が継続でき、地域全体の医療の質が大幅に向上することが期待されます。
また、統合再編の対象となる病院が行っている人工透析などの慢性疾患の診療や、住民に身近な医療など、地域にとって必要な医療は今後も継続してまいります。

Q3 基幹病院の整備・運営は「公設民営」とのことですが、どのような理由でしょうか？

A3 基幹病院は、救命救急など地域に必要な政策的な機能を担っていただく必要があります。そのためには、病院の整備は「公設」とし、安定的な医療提供ができる体制を目指していきます。
一方、病院の運営は、スピード感のある経営的ノウハウ、病院運営が必要なこと、医療スタッフの確保性にも資するに取組めることから、運営主体については「民営」としたいものです。

「資金の引き下げ」を目的としたものでは決してありません。
今後、「公設民営」を基本方針として、具体的な検討を行ってまいります。



《お問い合わせ先》

新潟県福祉保健部医務課

T850-8570 新潟市中区新堀町4番地1

TEL 025-295-5511(内) FAX 025-295-5723

E-mail: ng112430@pref.niigata.lg.jp

三条地域振興局健康福祉環境部

T855-0046 三条市東区丁目13番4号

TEL 0258-36-2360 FAX 0258-36-2365

E-mail: ng112430@pref.niigata.lg.jp

Birthday 3月のお祝い



誕生日



会員誕生

2日 谷 晴夫君
25日 齋藤嘉一君

20日 馬場眞樹君

夫人誕生

4日 田代恵美子(徳太郎)さん
18日 広岡頼子(豊樹)さん
31日 西巻富紗(克郎)さん

5日 平松貴子(修之)さん
26日 滝口ミヨ(恵介)さん

結婚記念

2日 馬場輝仁君・廉子さん
18日 広岡豊樹君・頼子さん
28日 渡邊光郎君・ノリさん
30日 滝口恵介君・ミヨさん

16日 安達 裕君・範子さん
21日 坪井正康君・恭子さん
30日 馬場一敏君・静子さん

* おめでとうございます *

次週例会 3月11日⇒12日(火)「4RC合同例会」18:00~ 於:ワシントンホテル
講師:長岡国際交流センター「地球広場」センター長 羽賀友信様

次々週例会 3月18日 卓話 渡辺俊明会員「肝心要の肝臓のはなし」



表紙について

あの日の一枚

...「創立20周年記念式典」式典風景

1988年6月5日於:県央地場産業振興センター

三條南ロータリークラブ週報

2013. 2.25

No.2067 No.25